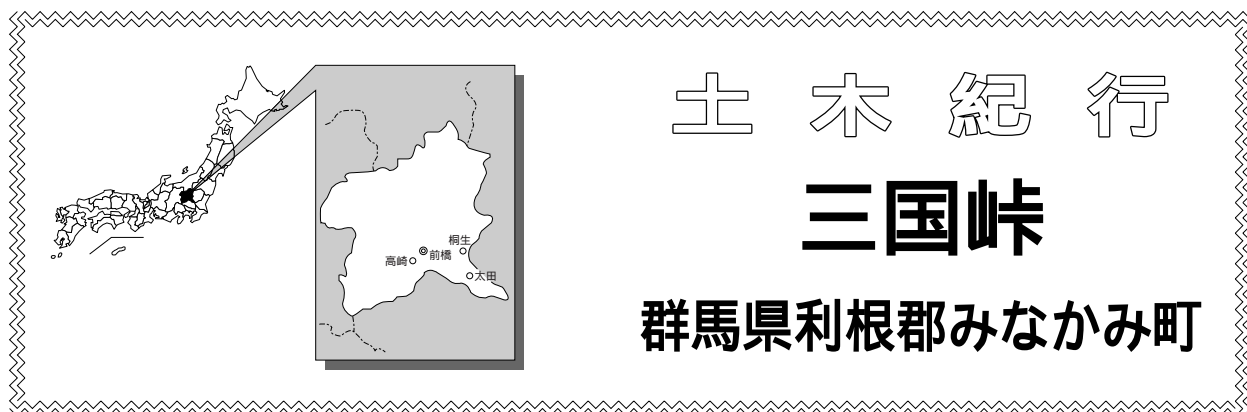




三国峠

利根郡新治村と新潟県湯沢町にまたがるのが、標高1,636.4mの三国山である。このうち標高1,244mの三国峠には、中世から太平洋岸と日本海岸を結ぶ最短路が通されていた。しかし、五街道につぐ要路であったこの道も、明治26年の信越線の開通、昭和6年の上越線の開通により、往来が衰退する。三国峠越えは厳しい道だったからである。道が細く急なこの峠では、かつて多くの人が命を落とす悲劇が絶えなかった。

この急峻な危険きわまりなかった山岳道路は、昭和27年一級国道にランクされ、改良工事が始まった。峠道は、旧道より標高が高い場所に付け替えられ、渓谷には高さ100m近い橋が13も建設さ

土木紀行

三国峠

群馬県利根郡みなかみ町

れた。峠の下、標高1,200mの地点には、当時全国第2位の長さであった三国トンネルも建設され、昭和34年4月、三国街道は国道17号として全線開通したのである。この開通を、当時の新聞は「雪国初の山岳道路」「日本海側と太平洋側を結ぶ経済大動脈完成」と大きな活字で祝っている。

クロソイド

人々の喜びの中で生まれたこの道路には、一つの工夫が隠されていた。三国峠には55のカーブが設置されたが、このカーブと直線との接点に、日本で初めてクロソイド曲線が導入されたのである。これは道路の直線とカーブの間に緩和曲線を挟み込む線形で、直線からカーブに入った場合に車に加わる加速度を抑え、道路から車が飛び出



写真—1 三国峠



写真—2 クロソイド記念碑

すのを防ぐ効果がある。三国峠から導入されたクロソイド曲線は、その後の道路整備でも積極的に取り入れられ、各地で人々の安全を守り続けている。自動車を走行しながらハンドルを回したときの軌跡がクロソイド曲線になることから、安全で走りやすい道路に非常に適しているのである。また、道路だけではなくジェットコースターなど

にも適用されている。

なお、クロソイド曲線導入を記念した「クロソイド曲線記念碑」がトンネル入口付近に建立されている。

(参考:「『関東の道』発刊20周年記念」「国土交通省高崎河川国道事務所ホームページ」)

【交 通】 ・JR 上毛高原，後閑駅よりバスで約30分猿ヶ京関所下車，タクシーに乗り換え約25分 ・関越自動車道月夜野 IC より約50分 ・三国トンネル管理所に駐車場あり 【探訪コース】 緑深い山々，澄んだ空気，四季折々の花と緑，旧街道の面影と歴史，三国街道に栄えたのどかな湯の里，リフレッシュ間違いのない山里です。 ・三国山（三国峠） 上信越国境谷川連邦の西端に，しなやかで美しい容姿を見せている標高1,636mの三国山。雪深い山のためなのか，標高に比べ高山の趣を見せている。中腹にある「お花畑」と呼ばれる草原は，高山植物の宝庫として知られてい	る。7月中旬が見ごろとなるニッコウキスゲの群落は見事で，この時期には数多くのハイカーで賑わっている。 その昔，上州と越後を結ぶ交通の要所であり，旅人にとっては最大の難所でもあった三国峠も三国トンネルなどの開通から実用面からはかけ離れ，三国路自然歩道というハイキングコースとして整備されている。 ・猿ヶ京三国温泉郷 三国トンネルに至る三国街道（国道17号線）周辺には秘湯（温泉）ブームの先駆けとなった法師温泉をはじめ六つの個性的な温泉（湯宿，赤岩，猿ヶ京，法師，川古，奥平）が点在し，猿ヶ京三国温泉郷として変わらぬ人気を集めている。 ・三国街道須川宿，たくみの里 湯宿温泉から国道17号線を500mほど入ったところに，旧三国街道の宿場であった須川宿，たく	みの里がある。往時を偲ばせる景観は姿を消したものの，農家を改築した家並みが宿場町の雰囲気醸し出している。ここでは，資料館のほかそば打ち，竹細工，紙すきなど20を超える「伝統的な匠の技」が体験できる施設が揃っている。駐車場，飲食・宿泊施設が整備され，手作り体験に加え田舎体験も楽しめる。 【特産品】 豊かな自然に恵まれた新治地区。大地の恵み（大豆，米，コンニャク芋など）を使い，鮮度と無添加にこだわってつくられた「豊楽味噌」「豊楽豆腐」「豊楽納豆」「豊楽こんにゃく」など。平凡であるものの，どれも素材の持味を生かした逸品である。 【問合せ先】 群馬県利根郡みなかみ町役場 電話 0278-62-2111
--	--	---